

大学コンソーシアムやまがた 総務運営委員会 記録

日 時	平成19年1月24日(水) 13:30~15:20		
場 所	山形大学人文棟2F会議室		
出席者	委員長	中村三春(山形大学)	
	委 員	栗山恭直(山形大学)	嶋崎伸一(県立米沢女子短期大学)
		伊東知之(羽陽学園短期大学)	阿部裕美(山形短期大学 代理)
		矢口親斉(東北公益文科大学 代理)	
		佐竹正行(山形大学)	中嶋健治(東北芸術工科大学)
		高橋勝重(県立米沢女子短期大学)	
		江口裕之(鶴岡工業高等専門学校 代理)	
		高橋正浩(山形県)	
欠席者	副委員長	早坂 功(東北芸術工科大学)	
	委 員	内田勝雄(県立保健医療大学)	菊地 朗(山形大学)
		阿部愼悦(県立保健医療大学)	池田浩一(東北公益文科大学)
		半澤昌子(山形短期大学)	卷 久(羽陽学園短期大学)
		長谷川守男(羽陽学園短期大学)	中島博信(放送大学山形学習センター)

会議に先立ち、山形県文化環境部県民文化課佐藤主査から、来年度の事業として予算要求中の「若者文化振興・地域賑わい創出モデル事業」及び「やまがた文化のいぶき発信事業」について説明とコンソーシアムへの協力要請があった。

次いで、委員長から、12月9日・10日に八王子市で開催された全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムについて、及び、函館市高等教育機関連携推進協議会から本コンソーシアムの仙道会長に対し、3月開催予定の高等教育機関連携・共同FD研修会への講演依頼がきている旨報告があった。

議 題

1 19年度コンソーシアムへの新規加入機関について

委員長から、県立産業技術短期大学校及び県立農業大学校の2校から、本コンソーシアムへ加入する方向で考えているとの連絡があり、今後、幹事会等で審議することになる旨説明があった。

2 18年度コンソーシアム事業・予算の状況について

委員長から、8月29日開催の本委員会において審議した「学術情報部会」が、幹事会及び総会で承認され3つ目の部会として設置され、1月29日(月)に第1回目の部会が開催される予定である旨報告があった。

次いで、委員長から、資料2-1、2-4に基づき、今年度のコンソーシアム事業の進捗状況、及び、資料2-2に基づき、今年度のコンソーシアム予算の執行状況について詳細説明と来年度への向けての反省点等が述べられた。

その反省点等の主なものは次のとおり。

- ・ 8月開催のガイダンスセミナーについては、大学入試センターとの共催事業としての初年度ということで実施時期が遅れたことと、日程的には高校の都合を入れたつもりだったが、結果的には参加者が少なかった。
- ・ 単位互換については、対面型は利用者数が伸びないが、公益大から山形大へ、また、米沢女子短大から山形短大へ、と遠距離間での利用事例がある点ではよかった。
- ・ eラーニングについては、画像の品質がよくない。また、各大学の授業時間にずれがあるため、ライブ配信の受講は困難であることが分かった。
- ・ 学生活動事業については、公益大に主担当してもらっているが、距離的な問題もあり、担当機関を増やすことも含めて検討していきたい。
- ・ 事務局体制について、単位互換の本格化等、業務量が増えてきており、パート職員を増員したいと考えている。
- ・ 参考までに、仙道会長は、実施事業を精選し内容を充実したものにすべきである旨述べている。

3 19年度総務運営委員会担当事業について

委員長から、来年度の本委員会担当事業のうち、ガイダンスセミナーは早期に実施する必要があるため、事業概要等を確認しておきたい旨説明があり、次いで、資料3に基づき説明の後、意見交換が行われ、企画案を一部修正し大枠で了承された。

その説明と確認された内容は次のとおり。

- ・ 大学入試センターから、来年度も引き続き、本コンソーシアムと共催で山形県で実施することとなった旨連絡があった。ただし、県内のみ該当ということで、仙台開催については、コンソーシアムの単独事業となる。
- ・ 仙台での合同説明会は5月実施とする。
- ・ 大学入試センター共催のガイダンスセミナーは、6月に新庄市と山形市で開催することとし、山形県高等学校教育研究会進路指導部会や高校長会にも協力をお願いしたい。
- ・ 大学入試センター共催の高大連携フォーラムは、企画案では山形市開催であったが、ガイダンスセミナーとの地域的なバランスを考慮し、鶴岡市で開催することになった。

4 その他

(1) ゆうキャンパス企画タスクフォース（仮称）について

委員長から、コンソーシアム事業の統括は本委員会が行うが、本委員会の下に、特色ある事業の企画を検討するチームを設けたい。チームは5人程度で、人選は委員長に一任願いたい。そのメンバーは、形式的に本委員会の委員としたい旨提案があり、了承された。

(2) 県・大学コンソーシアムやまがた地域活動事業について

県の高橋委員から、次の3点について説明と協力依頼があった。

- ① 県からコンソーシアムへの支援補助金は今年度で終了となること
- ② 資料4に基づき、来年度の県の予算編成方針を踏まえ、「大学コンソーシアムやまがた地域活動支援事業」として予算要求していること及びその内容について
- ③ 県がコンソーシアムを支援している関係で、県の数値目標として、単位互換利用率を、

平成27年度までに2%にしたいと掲げているので、コンソーシアムでも積極的に展開していただきたいこと

(3) その他

委員長から、本委員会に、各部長にも委員として加わってもらうことを検討したい旨述べられた。

また、本会議の持ち方についてTV会議も考えてほしい旨意見があり、今後検討することになった。

配付資料

資料1	19年度新規加入機関（予定）について
資料2-1	18年度コンソーシアム事業の進捗状況
資料2-2	18年度コンソーシアム予算執行状況
資料2-3	大学コンソーシアムやまがた組織図
資料2-4	18年度事業に関する資料
資料3-1	大学ガイダンスセミナー実施委員会記録（18.12.11開催分）
資料3-2	19年度大学ガイダンスセミナー企画概要（案）
資料3-3	19年度分に関する大学入試センターからの連絡事項
資料4	県・大学コンソーシアムやまがた地域活動支援事業について